

ニッケコルトンプラザ カーボンニュートラルに関する取り組み



ニッケ・タウンパートナーズ株式会社

代表取締役社長 清水 泉



ニッケコルトンプラザ 施設概要

【沿革】

- 1988年 「ニッケコルトンプラザ」オープン
- 1994年 イースト館オープン（トイザラス千葉県初出店）
- 1999年 ウェスト館オープン
（ヴァージンシネマズ（現・TOHOシネマズ）
千葉県初出店）
- 2009年 本館増床リニューアルオープン
- 2019年 ツムグテラスオープン
- 2022年 本館リニューアルオープン

2023年 **35周年**

年間来場客数 約1,200万人

店舗数 約150店舗

延床面積 約140,500㎡（約42,500坪）



コルトンプラザ 太陽光発電所

ソーラーパネル



定格出力：260W/枚
枚数：2,665枚

パワーコンディショナー



出力：250kW/台
台数：3台

コルトンプラザ ソーラー発電量

2022年9月～2023年8月期間
年間約**720,000**kWhの発電
年間で約**320**tのCO₂削減

約170世帯の年間消費電力を賄える発電量
(※1世帯当たりの年間消費電力を4,258kWhで換算)



コルトンプラザ照明LED化の推進

館内各所の照明のLED化による消費電力削減
順次照明機器の変更を行い、消費電力削減を試みる。

(ex) 本年度の取り組み

館内463台、外灯121台のLED化

⇒年間で約**100,000**kWhの電力使用の削減

約**44**tのCO₂の削減が見込まれる。



EV充電スタンドの設置

館内でのお買い物をいただいている
間に電気自動車の充電が可能なよう、
館内2箇所にてEVの充電スタンドを
駐車場内に設置



クールシェアの場として

本年2023年の夏は、
今年の夏はコルトンで涼もう！
を合言葉に、クールシェアの提案を実施

館内の涼みスポットや、冷感商品を
SNSを通じて周知。



今後の取り組みと課題

1. スコープ1, 2, 3 CO₂集計システムを導入・活用し、ニッケグループ全体でCO₂排出量削減に取り組みます。

2. 設備更新時には、環境負荷が少なくCO₂排出量の少ない高効率・省エネ設備機器の導入を促進します。

照明のLED化、駐車場システム更新（カーボン紙チケットの削減）、空調設備等

3. グリーンエネルギーの検討

蓄電システム、自己託送・オフサイトPPAの検討